

J6 2.0

TECHNOLOGY GREEN FUTURE

資料 6 - 1

住宅街も走れるサイズの小型電気バスです。
100% 電気ので、力強く、静かに、排出ガスを出すことなく街を走ります。



車長 × 車幅 × 車高

6,990 × 2,080 × 3,060mm

最大乗車定員

36 名

バッテリー容量

138.3kWh

航続距離

210km

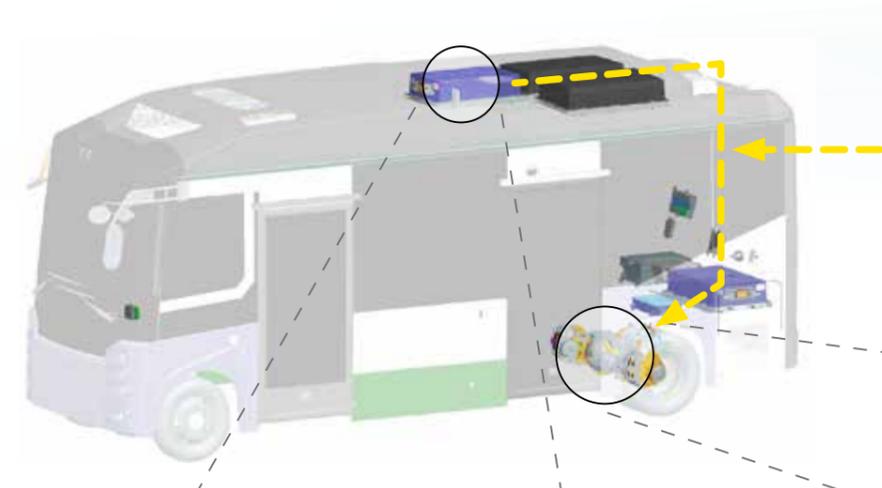
最大出力

140kW

技術

EV バスの仕組み

バッテリーに貯めた電気でモーターを駆動し走行します。エンジンやミッションがないため、振動が少なく静かで快適な乗り心地が特徴です。また、排出ガスを出さない環境にも優しい次世代の移動手段です。





EV 充電器
主要メーカーのチャデモ規格充電器に対応



アクスルモーター
満員でも坂道でも力強く滑らかに加速

従来型
リン酸鉄リチウムイオン
バッテリー

新開発ブレードバッテリー
釘を貫通させる過酷な試験でも発熱変形しない安全性

試験の様子は
こちら▼



電気自動車のコアを自社開発
車両だけでなくコア部品においても独自に開発・製造しています。



モーター



コントローラー



バッテリー

優れたメンテナンス性

- ・インバーターやバッテリーなどの主要部品はメンテナンスフリー設計です。
- ・コア部品をはじめとした多くの部品を自社製造しており、長期的な補修部品の供給が可能です。
- ・タイヤ、オイル類の消耗品は日本国内で調達可能な規格で設計しています。

充実した安全装備 ※標準装備



EDSS
(ドライバー異常時対応システム)
運転席部、又は客席上部に設置された非常停止スイッチを押すことで制動を開始し、徐々に速度を落とし停止します。



前後クリアランスセンサー
超音波センサーで人や障害物の大きな距離を検知し、接近を通知します。



車線逸脱警報システム
走行車線の右側もしくは、左側のレーンマーカーに近づいたと判断するとアイコンと警報音でドライバーに知らせます。



アラウンドビューモニター
複数のカメラ映像を加工し、車の位置を上空から撮影したかのような映像を運転席のモニターで確認できるシステムです。



デイライト
対向車や歩行者からの視認性が高まります。

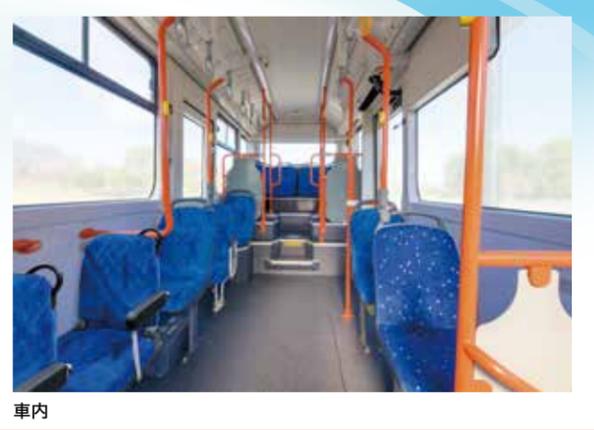
ユーザーにやさしい客室空間

車内はブレードバッテリーにより大幅に空間が拡大し、従来比定員最大プラス 5 名を実現しました。

都市型 (2ドア 36人乗り 19席)



外観

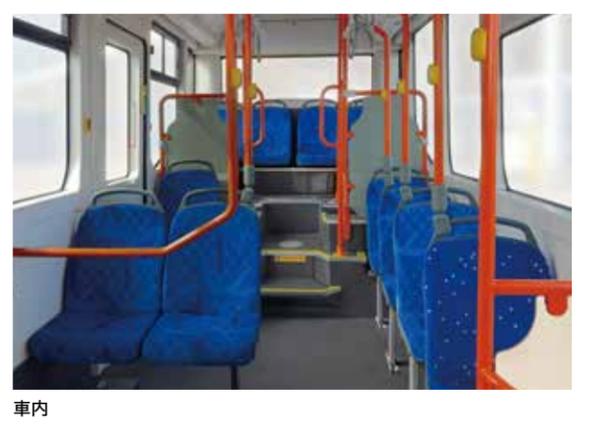


車内

郊外型 (1ドア 32人乗り 13席)



外観



車内



全席 USB ポート設置



全てのの人に優しい車両設計 (ノンステップ認定車両) :
車いすやベビーカーの乗り降りがしやすいスロープ付き

操作性の高いコックピット



コックピット 国産ワンマン機器も架装可能なレイアウト



メーター
視認性の高い全液晶メーター



回生ブレーキ切替スイッチ
道路状況に合わせて3段階の切替が可能

車載バッテリーのリユース&リパーパス

二次利用→三次利用

最終処理/リサイクル



電気バスでは
役目を終えた電池も
別用途で利用可能



別車両へ載せ替え
ピークカット
再エネ需給調整
系統連携 (売電・VPP)



有価金属を回収し
再資源化

BCP活用→災害時の活用

V2L



車内に標準装備された AC100V
から最大 1.5kW の放電可能。
さらに専用機器を接続することで
より大きな電力の放電が可能



病院



避難所



通信施設

BYD



V2H



V2H 機器へ接続することで住宅
などの建物に電力供給が可能



災害
対策

移動蓄電池として災害
時の避難所をはじめ、多彩な用途で活
躍することが可能

V2G



V2G 機器へ接続することで電力
系統へ電力の供給が可能



学校



福祉施設



各種施設

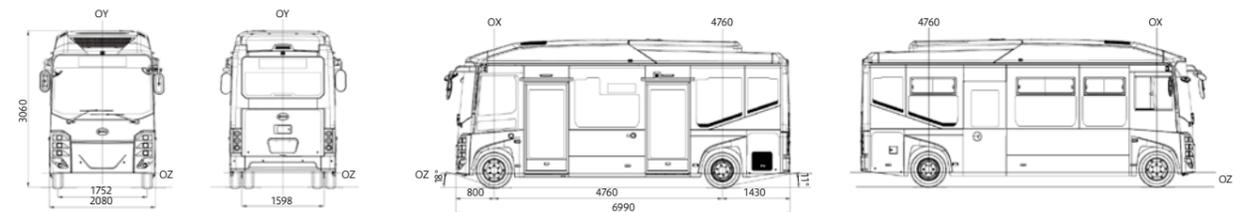
動く蓄電池として災害時や地域の催しやイベント等、必要な時に欲しい場所へ電気を届けることができます。

主要諸元表

		J6 2.0	
		都市型	郊外型
車両規格	車長×車幅×車高	6,990 × 2,080 × 3,060	
	扉仕様	前：アウトスライド扉 / 中：アウトスライド扉	
	乗車定員	36	現行EV車 29人 (9+2+17+1)
	座席 + 跳上げ席 + 立席 + 運転席	11 + 2 + 22 + 1	
	車椅子スペース	1	
	ホイールベース	4,760	
	オーバーハング (F/R)	800 / 1,430	
重量	トレッド (F/R)	1,752 / 1,598	
	車両重量	6,400	6,400
性能	車両総重量※1	8,380	8,160
	最高速度	70	
	登坂性能	20	
	航続距離※2	210	現行EV車 200km
	最小回転半径	7.9	
	アプローチアングル	18	
	デパーチャーアングル	11	
シャーシ	サスペンション (F/R)	エアサスペンション	
	タイヤサイズ (フロント/リア共)	215/70R 17.5	
モーター	駆動方式	リア駆動	
	種類	永久磁石同期モーター	
	最大出力	140	
	最大トルク	360	
バッテリー	種類	リン酸鉄リチウムイオン	
	容量	138.3	
充電	入力	<90	
	充電時間※3	≦2	
放電	コンセント	1箇所 (AC 100V 15A)	
	USB	11箇所 (Type-A/5V 2A)	13箇所 (Type-A/5V 2A)
環境負荷 物質削減	鉛	自工会自主目標達成 (1996年の1/4)	
	水銀	自工会自主目標達成 (2005年1月以降使用禁止)	
	カドミウム	自工会自主目標達成 (2007年1月以降使用禁止)	
	六価クロム	自工会自主目標達成 (2008年1月以降使用禁止)	
エアコン冷媒	種類 / 使用量 / GWP (地球温暖化係数) 値	R407C / 3,600g / 152	
	環境影響度目標値 / 目標年度	150 / 2029年	

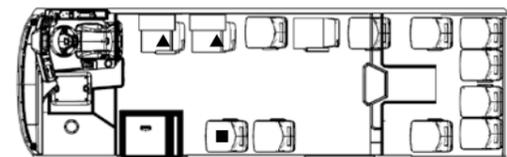
注：※1 オプション装着により、重量が変わる場合があります。※2 航続距離は冷房起動時となります。※3 常温環境下で90kW充電器使用時の充電時間となります。●テスト標準 GB / T 19754 ●運転習慣、運転速度、道路状況、天気や気温等によりバッテリー寿命に影響が生じることがあります。●バッテリーの使用寿命と環境温度は、充電時間に影響が生じることがあります。●この情報は2024年4月現在のものです。

4面図 (都市型)



都市型 乗員定員(人):36

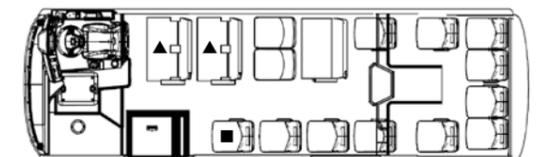
座席 + 跳上席 + 立席 + 運転席
11 + 2 + 22 + 1



▲部：跳ね上げシート (車椅子スペース) ■部：優先席

郊外型 乗員定員(人):32

座席 + 跳上席 + 立席 + 運転席
15 + 4 + 12 + 1



▲部：跳ね上げシート (車椅子スペース) ■部：優先席

EV車両
南ルートでの使用車両
ラッピングの変更なし

平日:加木屋線
休日:加木屋線



1

EV車両
南ルートでの使用車両
ラッピングの変更なし

平日:加木屋線
休日:加木屋線



E V車両 (令和6年10月購入予定)

平日:名和線

休日:名和線



E V車両 (令和6年10月購入予定)

平日:名和線
休日:名和線



ディーゼル車両（小型）
北ルートでの使用車両

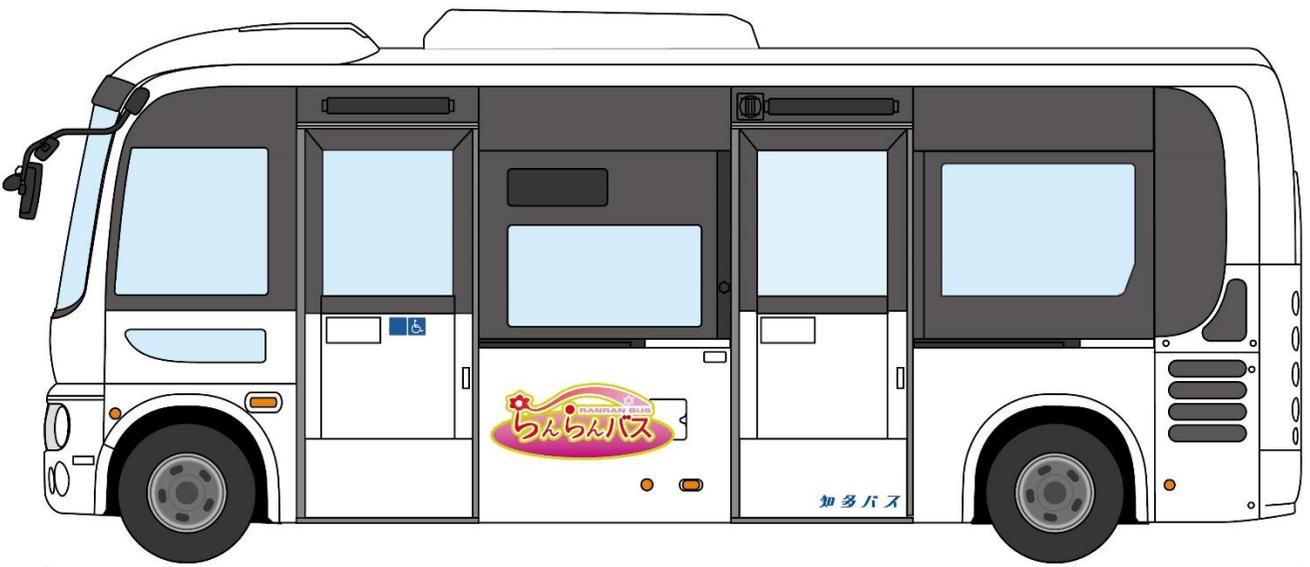
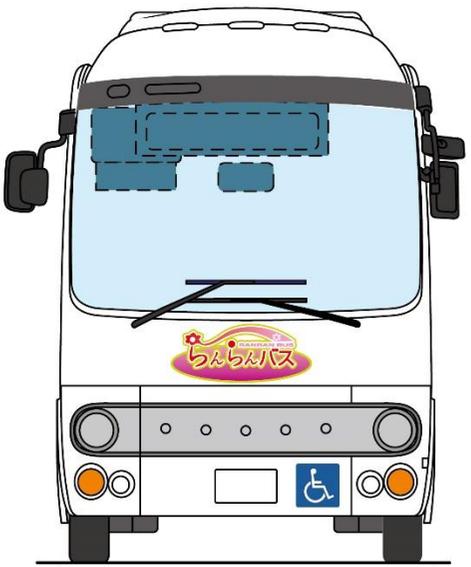
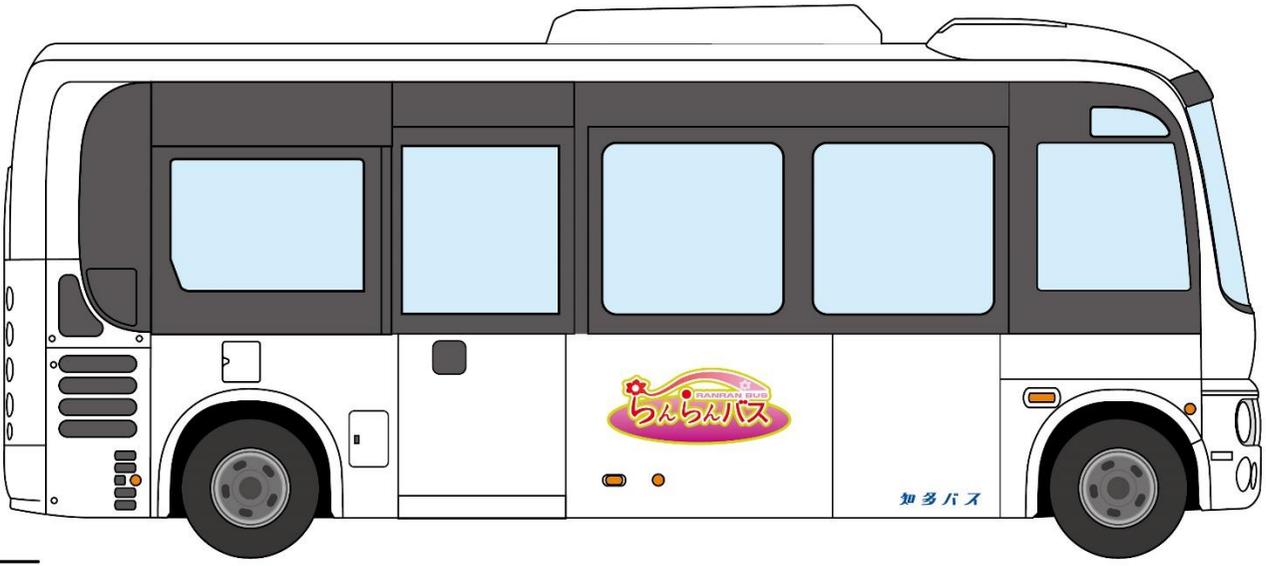
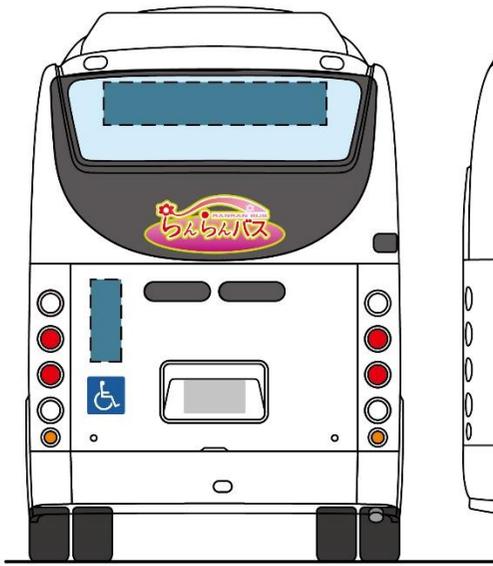
平日：荒尾線

休日：横須賀線



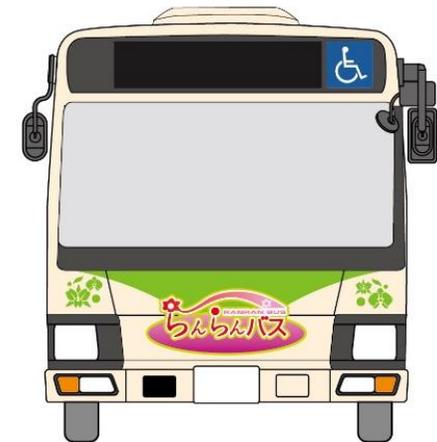
ディーゼル車両（小型）
北ルートでの使用車両

平日：荒尾線、横須賀線



ディーゼル車両（中型）
中ルートでの使用車両

平日：富木島線
休日：富木島線



7

ディーゼル車両（中型）
中ルートでの使用車両

平日：横須賀線
休日：荒尾線

